



2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社デザインワン・ジャパン 上場取引所 東
 コード番号 6048 URL <https://www.designone.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 靖雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 田中 誠 (TEL) 03(6421)7438
 四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	1,739	△6.7	△98	—	△89	—	△251	—
2023年8月期第3四半期	1,863	10.7	62	△55.3	76	△53.7	33	244.6

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 △203百万円(—%) 2023年8月期第3四半期 50百万円(281.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	△17.06	—
2023年8月期第3四半期	2.27	2.26

(注) 2024年8月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	3,504	2,908	83.0
2023年8月期	3,672	3,111	84.7

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 2,908百万円 2023年8月期 3,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—		
2024年8月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,473	1.8	△144	—	△140	—	△260	—	△17.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料 8 ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年8月期3Q	15,179,900株	2023年8月期	15,173,900株
2024年8月期3Q	426,258株	2023年8月期	426,258株
2024年8月期3Q	14,750,488株	2023年8月期3Q	14,745,542株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記載につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計上の見積りの変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復や雇用情勢の改善などにより、景気は緩やかな回復基調となりました。その一方で、ウクライナ情勢の長期化や円安の継続、エネルギー価格や資源価格の高騰等による国内物価上昇の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「Webマーケティング技術」や「システム開発力」を活かし、店舗情報口コミサイト「エキテン」を中心にサービスを提供するとともに、子会社を通じた事業の多角化を積極的に促進いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、当社グループの主力事業である店舗情報口コミサイト「エキテン」の売上高減少の影響により、1,739,021千円（前年同四半期比6.7%減）となりました。利益につきましては、売上高減少と子会社において売上原価が増加した影響により、販売費及び一般管理費は減少したものの、営業損益は98,007千円の損失（前年同四半期は62,838千円の利益）、経常損益は89,089千円の損失（前年同四半期は76,913千円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損益は、第2四半期連結累計期間に子会社ののれんについて減損処理を行った結果、251,677千円の損失（前年同四半期は33,410千円の利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「その他」としておりました「HRソリューション事業」を報告セグメントへ記載する方法に変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(インターネットメディア事業)

当社グループの主力事業である店舗情報口コミサイト「エキテン」におきましては、新規店舗の獲得を進めるために様々な施策に取り組んでおります。商品力の強化においては、他サービスとの連携を進めて、店舗がより使いやすいシステム開発に継続的に取り組みました。販売面での取り組みとしては、無料会員の獲得率向上に向けたサイト改修、およびジャンルの多角化に向けた販売の強化などに注力いたしました。これらの施策によって、有料店舗会員数の減少ペースは縮小してきましたが回復までには至らず、引き続き厳しい状況が続きました。

その結果、当第3四半期連結累計期間末における「エキテン」の無料店舗会員数は319,105店舗、有料店舗会員数は14,494店舗（前連結会計年度末比1,948店舗減少）となり、売上高は減少いたしました。

また、専門業者（遺品整理、片付け等）のマッチング・サイトを運営するオコマリ株式会社につきましては、売上高は大口取引先からの紹介案件を伸ばせず減収となり、費用においても広告費用が上昇傾向にあることから、厳しい結果となりました。

これらの結果、インターネットメディア事業の売上高は1,047,065千円（前年同四半期比17.7%減）となりました。セグメント利益につきましては、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、売上高減少の影響により15,997千円の損失（前年同四半期は142,086千円の利益）となりました。

(DXソリューション事業)

売上高につきましては、ベトナムのシステム開発子会社であるNitro Tech Asia Inc Co. Ltd.を活用したオフショア開発事業は伸び悩んだものの、ホスティングやWeb広告を事業内容とする株式会社DEECHはWeb広告が好調で、Web制作・受託開発・ホスティングサービスなどを展開している株式会社イー・ネットワークスも売上高を大きく伸ばすことが出来ました。利益につきましては、広告宣伝費や外注費の増加などによる売上原価の増加に加えて、社員数の増加により販売費及び一般管理費も増加しましたが、売上高の増加により赤字幅は縮小いたしました。

この結果、DXソリューション事業の売上高は661,641千円（前年同四半期比18.6%増）、セグメント損失は38,025千円（前年同四半期はセグメント損失51,335千円）となりました。

(HRソリューション事業)

株式会社昼jobの人材紹介サービスは、ナイトワーク出身者の求職環境は依然として厳しい中、新たなジャンル開拓にも積極的に取り組みましたが、業績貢献には至りませんでした。

この結果、HRソリューション事業の売上高は44,185千円（前年同四半期比32.0%減）、セグメント損失は販売費

及び一般管理費の抑制に努めたものの、6,110千円（前年同四半期はセグメント利益7,542千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ167,950千円減少し、3,504,754千円となりました。

これは主に、流動資産その他の増加（前連結会計年度比115,325千円増）、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比56,596千円増）及び、売掛金の増加（前連結会計年度比44,650千円増）等がありましたが、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比188,112千円減）、無形固定資産の減少（前連結会計年度末比96,853千円減）、投資その他の資産その他の減少（前連結会計年度末比72,382千円減）、有形固定資産の減少（前連結会計年度末比15,878千円減）及び、貸倒引当金の増加による流動資産の減少（前連結会計年度末比6,511千円減）等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ35,545千円増加し、596,589千円となりました。

これは主に、長期借入金の減少（前連結会計年度比24,677千円減）等がありましたが、未払金の増加（前連結会計年度比29,073千円増）及び、賞与引当金の増加（前連結会計年度比24,303千円増）等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ203,496千円減少し、2,908,165千円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度末比41,348千円増）等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等による利益剰余金の減少（前連結会計年度末比251,677千円減）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年4月12日の「特別損失の計上及び2024年8月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,360,692	2,172,579
売掛金	160,353	205,004
契約資産	14,731	12,601
有価証券	400,000	400,000
仕掛品	59	492
貯蔵品	3,267	2,528
その他	81,649	196,974
貸倒引当金	△19,291	△25,802
流動資産合計	3,001,462	2,964,378
固定資産		
有形固定資産	46,367	30,488
無形固定資産	102,605	5,751
投資その他の資産		
投資有価証券	344,568	401,164
その他	179,930	107,547
貸倒引当金	△2,226	△4,575
投資その他の資産合計	522,271	504,136
固定資産合計	671,243	540,376
資産合計	3,672,705	3,504,754

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,798	34,970
1年内返済予定の長期借入金	37,695	33,982
未払金	155,251	184,324
未払法人税等	11,215	5,661
役員賞与引当金	166	1,604
賞与引当金	7,164	31,467
ポイント引当金	4,294	3,742
その他	100,896	93,806
流動負債合計	330,482	389,560
固定負債		
長期借入金	186,814	162,137
その他	43,747	44,891
固定負債合計	230,561	207,028
負債合計	561,043	596,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,999	649,089
新株式申込証拠金	-	108
資本剰余金	629,981	630,071
利益剰余金	1,834,009	1,582,332
自己株式	△100,186	△100,186
株主資本合計	3,012,803	2,761,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,173	77,522
為替換算調整勘定	62,684	69,228
その他の包括利益累計額合計	98,858	146,751
純資産合計	3,111,661	2,908,165
負債純資産合計	3,672,705	3,504,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	1,863,667	1,739,021
売上原価	487,914	591,555
売上総利益	1,375,752	1,147,466
販売費及び一般管理費	1,312,914	1,245,473
営業利益又は営業損失(△)	62,838	△98,007
営業外収益		
受取利息	9,525	11,480
その他	21,192	3,611
営業外収益合計	30,717	15,092
営業外費用		
支払利息	1,121	2,171
貸倒引当金繰入額	8,538	-
貸倒損失	3,134	9
投資事業組合運用損	3,330	3,134
その他	516	858
営業外費用合計	16,641	6,174
経常利益又は経常損失(△)	76,913	△89,089
特別利益		
固定資産売却益	27	-
新株予約権戻入益	42	-
特別利益合計	69	-
特別損失		
固定資産除却損	0	-
減損損失	-	92,888
本社移転費用	-	42,321
特別損失合計	0	135,210
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	76,983	△224,299
法人税、住民税及び事業税	40,107	11,697
法人税等調整額	3,464	15,681
法人税等合計	43,572	27,378
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,410	△251,677
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	33,410	△251,677

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,410	△251,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,099	41,348
為替換算調整勘定	6,168	6,544
その他の包括利益合計	17,268	47,892
四半期包括利益	50,679	△203,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,679	△203,784

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期連結会計期間において、本社の移転を決定したため、移転に伴い利用不能となる資産について耐用年数を移転予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。また、移転前の本社の不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務についても、償却に係る合理的な期間を短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ7,608千円増加しております。

(追加情報)

(連結子会社における訴訟について)

連結子会社である株式会社イー・ネットワークスに対して、2022年1月21日に元株主から一部の株式について株主であることを主張する旨の訴訟が提起されておりましたが、2024年2月9日に棄却となり、勝訴いたしました。

また、当該判決を受け、2024年2月19日に元株主から控訴が提起されましたが、2024年6月25日に和解が成立し、本訴訟は終了いたしました。

これによる当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	インター ネットメ ディア事業	DXソリュー ション事業	HRソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,271,902	528,003	63,760	1,863,667	—	1,863,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	29,795	1,200	30,995	△30,995	—
計	1,271,902	557,799	64,960	1,894,663	△30,995	1,863,667
セグメント利益又は損 失(△)	142,086	△51,335	7,542	98,293	△35,455	62,838

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△35,455千円には、セグメント間取引消去15,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△50,456千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	インター ネットメ ディア事業	DXソリュー ション事業	HRソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,047,065	648,370	43,585	1,739,021	—	1,739,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,270	600	13,870	△13,870	—
計	1,047,065	661,641	44,185	1,752,892	△13,870	1,739,021
セグメント損失(△)	△15,997	△38,025	△6,110	△60,133	△37,873	△98,007

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△37,873千円には、セグメント間取引消去12,486千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△50,359千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

「インターネットメディア事業」セグメントにおいて、オコマリ株式会社に係るのれんについて、当初想定していた収益の達成は困難であると判断したことから、92,888千円を減損損失として計上いたしました。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」としておりました「HRソリューション事業」の量的な重要性が増したため、報告セグメントへ記載する方法に変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。